



カブトムシ・クワガタムシ 成虫飼育方法

カブトムシやクワガタは幼虫の時期と成虫の時期とでは、形はもちろん、住んでいる場所や食べるものまで違います。したがって、それぞれの段階によって飼育方法も変わります。ここでは、成虫の飼育方法について説明いたします。

飼育に必要なもの

①飼育ケース



1匹で飼育する場合はプラスチックケース15cm以上、ペアの場合は30cm以上がおすすめです。ただし、ケンカが絶えなくなった場合は1匹ずつに分けてあげましょう。

②マット



昆虫マットやくぬぎコナラ等の広葉樹を使用したチップを使用しましょう。メスは土の中に潜って寝たりしますので10cm程度敷いてください。

③止まり木・落ち葉



オスは止まり木や落ち葉の裏などで休みます。また、転倒した際のつかまる足場として役に立ちます。

④皿木



昆虫ゼリーや樹液を入れるえさいれです。ゼリーカップのままでは、ゼリーがこぼれ、マットが不衛生になりますので必要です。

⑤霧吹き



マットの保水に使用します。掛ける時は昆虫にかからないように注意しましょう。

⑥エサ



昆虫ゼリーや樹液などになります。バナナなどを与える場合は腐りが早いので毎日交換します。クワガタは角がゼリーカップから抜けなくなることがありますので、広口タイプがよいです。

⑦コバエ防止シート



エサやマットでどうしてもコバエが発生しますので付けておくとういでしょう。

成虫の飼育セッティング

昆虫マットを5cm程度硬く抑え、その上に軽く10cm程度になるように敷き、霧吹きで加水します。水分はマットを手で軽く握って固まる程度にします。その後に、昆虫の足場となるのぼり木や枯葉・樹皮などをいれます。転倒した際の足場になるほか、マットの乾燥を防ぐ働きもあります。エサは、複数飼育の場合、1個ではケンカすることがありますので数個置いてください。その他、飼育状況によりマット保水ウォーターやコバエ防止シートをご準備ください。

お世話の方法

- ★エサ・・・数や食べ方、いたみ具合を目安に交換頻度を調整します。1週間に1～2回交換（目安）
- ★温度管理・・・夏場30℃以上になってくると弱ってきたりしますので、なるべく涼しい風通しの良い22～28℃ぐらいの場所に置きましょう。高い場所は温度が高いため置かないようにしましょう。マットが乾燥してきたら霧吹きで加湿していきます。
- ★湿度管理・・・あまり湿度が高いとダニの発生原因にもなりますので気を付けましょう。（霧吹きする場合は昆虫を避けて行いましょう。）昆虫マットは1～2週間ぐらいを目安に交換しましょう。
- ★マット・・・交換を怠りますと、コバエが大量に発生する原因になります。

成虫や幼虫・卵に触れる場合

- ★幼虫は人間が触れると、火傷のような状態になりやすいそうです。また、手の雑菌が、皮膚の弱い幼虫に感染する場合があるため、できるだけ、素手では触らないようにしましょう。
- ★成虫も変温動物なので、外気温に合わせて体温が変わります。触りすぎると、常に体内で体温変化が行われ、負担がかかります。触る回数が多い場合は、手袋、軍手などを使用して、温度を伝わりにくくしましょう。
- ★卵をどうしても移動しないとイケない場合は、スプーンなどを使い、直接触らないようにしましょう。